

## 心理学と心理的支援

問題 7 次の記述のうち、エピソード記憶の事例として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 暗算をする際に、途中の計算結果を覚えておきながら計算を進めた。
- 2 相手の電話番号を聞いて、携帯電話に登録するまで覚えていた。
- 3 カナダは北アメリカ大陸にある国だと覚えていた。
- 4 昔、練習して乗れるようになった自転車に、今でもうまく乗ることができた。
- 5 昨日の晩御飯にとんかつを食べたことを思い出した。

問題 8 職場における人間関係や意思決定に関する課題が生じたときに、その原因を理解したうえで、対応策を考えることが重要である。次の記述のような課題が職場で生じたときに、社会的抑制による事例として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 上司があまり成長を期待していなかった職員よりも、期待をしていた職員の方が次第に業績が向上するようになった。
- 2 会議中、本当は反対したかったが、他の多くの参加者が賛成したので賛成してしまった。
- 3 一人で考えていた内容よりも、全員が参加した会議で決めた内容の方が極端な結論になった。
- 4 上司が仕事上の指導をするときに非常に近い距離まで接近してくるため、強い不快感が生じた。
- 5 個室で一人で作業に取り組んだときよりも、大勢が一緒にいる部屋で取り組んだときの方が、他人の目が気になって効率が悪くなってしまった。

問題 9 エリクソン(Erikson, E.)の発達段階説における青年期の心理社会的危機として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 基本的信頼 対 基本的不信
- 2 同一性 対 同一性混乱
- 3 勤勉性 対 劣等感
- 4 自発性 対 羞恥心
- 5 ジェネラティビティ 対 停滞

問題 10 レジリエンスに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ストレスをもたらす原因となる出来事のことである。
- 2 強いストレスや心理的傷つきを伴う経験から、個人が持つ回復していく力のことである。
- 3 ストレスに伴って生じた不快な情動を、意識的に低減する方略のことである。
- 4 心的外傷となった過去の出来事を、あたかも今生じているかのように経験することである。
- 5 社会的な関係の中で行われる支え合いや支援のことである。

問題 11 事例を読んで、マイクロカウンセリングのかかわり行動や基本的傾聴技法に基づいた面接の最初の段階の応答として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

認知症のある親の介護について負担を感じている相談者が、地域包括支援センターを訪れ、社会福祉士が面接を行った。相談者は「何度も同じことを聞いてくるのでイライラして、つい強い口調で怒ってしまう」と訴えた。

- 1 「同じことを聞かれても、いつも初めてのように答えるといいですよ」
- 2 「それは適切な行動ではないですね」
- 3 「私もあなたと同じような経験をしたので、あなたの気持ちがよくわかります」
- 4 「その状況について、もう少し詳しく話してもらえませんか」
- 5 「正確に記録したいので、ゆっくり話してもらえませんか」

問題 12 認知行動療法に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 不安を「生の欲望」と捉え、不安にとらわれずに行動するよう指導する。
- 2 クライアントが記憶や夢などを語る自由連想法が用いられる。
- 3 抑圧されていることによって、対象者が気づいていない無意識への気づきを促す。
- 4 不適応を生み出している行動や思考を、適応的なスタイルに変化させるように働きかける。
- 5 クライアントの行動に焦点を当てて、強化因子を用いて介入するため、感情面の変化は目標としない。